

このコーナーでは、九州一安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



更生保護
長年、更生保護に尽力
伊藤さん、久壽米木さん表彰



会計を務める久壽米木さん。「今後もこつこつと活動を続けていきたい」と話していました

長年にわたり更生保護に力を尽くしたとして、小林地区更生保護女性会の伊藤美智子会長（写真右）が法務大臣表彰、久壽米木美代子さん（写真左）が日本更生保護女性連盟会長表彰を受けました。更生保護は、罪を償い社会の一員として立ち直ろうとする人を支える制度。伊藤会長は「皆でもらったという思い。罪を犯した人が立ち直るには、地域の理解と支えが必要。今後も更生保護のPRに力を注いでいきたい」と語りました。



市民活動支援センターからのお知らせ
まちづくりに貢献する市民活動団体を支援します



- 県が運営する「宮崎県 NPO ポータルサイト」では、県内に事務所がある NPO 法人の情報や講座などに関する情報を提供しています。
- 総務省では、地域情報化のノウハウを持つ人材「地域情報化アドバイザー」を派遣しています。派遣申請などについては、「一般社団法人 全国地域情報化推進協会」(Tel 03 - 5251 - 0311) まで問い合わせください。
NPO 法人、商工会議所などの団体で申請す



産学官連携
早稲田大学の大学院生 8 人が
小林の活性化策を提言

8 月 10 日、本市に 6 日間滞在し、地域活性化について研究を行った早稲田大学政治経済学術院の院生 8 人が、成果発表を行いました。野尻町区を対象とし、2 班に分かれ政策を提言。「農産物」がテーマの A 班は、効果的な PR を行う仕組みが必要と提言し、「短期的にはインターネットで発信し、中期的には民泊などの体験型観光で PR を兼ねる。長期的には、市全体で定住者を受け入れる体制を整えては」と提言しました。



野尻庁舎であった発表会。B 班は「のじりこびあとゆ〜ぱるのじり」をテーマに政策を提言しました

問 小林市市民活動支援センター
Tel 27-3177 (月曜、祝日は休館)

協働により「九州一安心安全なまち 小林市」を目指して

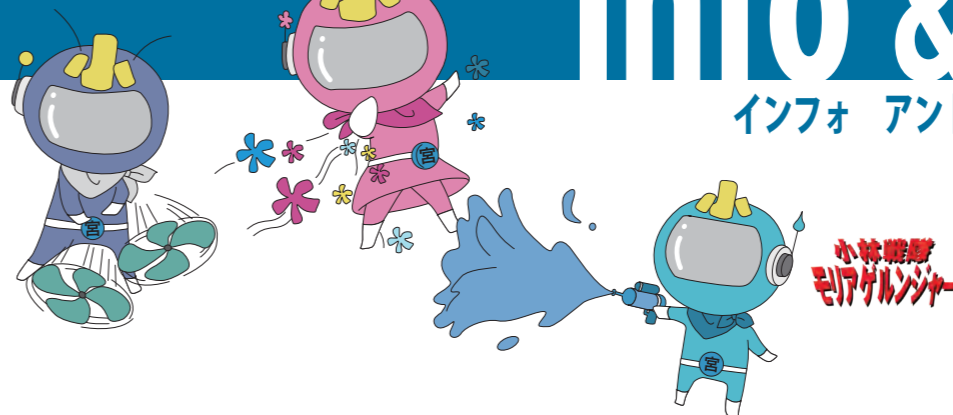


も応援。

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



このイラストは、小林高校2年生 海蔵楓寧さんが小林市の活性化を願い作成したものです。市の自然(花、星、水、虫)がモチーフになっています。



定住自立圏構想
2市1町で共同開催
西諸の未来を考える講演会



講演する北川教授。この講演会は、西諸定住自立圏構想の一環で開催されました

8 月 6 日、えびの市文化センターで早稲田大学政治経済学術院の北川正恭教授を講師に講演会が開催されました。高齢化と人口減少が進む西諸の現状を受けて、持続可能なまちづくりについて考えてもらおうと、2市1町が共同で開催。各市町の住民ら 500 人が参加しました。北川教授は、行政主体で行うまちづくりの時代は終わったとし、全国の事例を挙げながら「住民が立ち上がれば、まちが変わる」と呼びかけました。

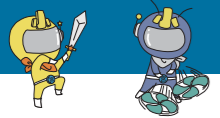


小林市協働のまちづくり推進委員会
協働のまちづくり推進委員に
山之内さんら 10 人を委嘱

市民による自主的なまちづくりについて協議、検討を行う小林市協働のまちづくり推進委員会が 8 月 2 日、市役所で開かれました。委員の任期は 2 年で、今回が 2 期目。新しく加わった田爪泉さん、吉村秀昭さんを含む 10 人に委嘱状が交付されました。1 期目に続き山之内志朗さんが委員長、新たに下沖篤史さんが副委員長に就任。山之内委員長は「今まで以上に小林の未来について語り合える場にしたい」と意気込みを語りました。



委嘱を受ける山之内委員長。下沖副委員長は「若い力で委員長を支えていきたい」と話していました



News 須木ふるさとプロジェクト
地域で交流深める
須木小児童ら公民館に登校



消防団員も参加し、消火器を使った防災訓練も

8月8日、須木小の児童が公民館や小学校跡地に登校しました。各地区に児童や住民らが集合し、清掃や防災訓練を実施。夏木公民館では、グラウンドゴルフや防災訓練が行われました。グラウンドゴルフを楽しんだ須木小6年の栗原力くんは「もう少しでホールインワンだったのに」と笑顔を見せていました。

News につこばまちづくり協議会
住民総出で食い道楽
最長 25 分のそうめん流し

7月28日、西小林小でそうめん流しが開催されました。につこばまちづくり協議会 青少年育成・コミュニティ部会と西小林小 PTA やっちみる会の共催で、子ども、保護者や住民ら約 200 人が参加。参加者は、自分で作った竹製の箸と器を使い、流れてくるそうめん、地元産の野菜や卵を食べていました。



準備された竹製の流し台は、最長 25 分

News スポーツ
市内の小・中学校生アスリート県大会で快進撃
全国・九州大会を前に、市長へ結果と出場を報告

県大会で上位入賞し、全国大会や九州大会に出場する市内の小・中学生らが市長を訪問しました。小林ボーイズ(野球)の谷口泰将さん(三松中)と谷川愛さん(小林中)は、鶴岡一人記念大会へ、県総体で優勝などした小林中の柔道部、陸上部、新体操部、三松中のハンドボール男子・女子が全国や九州大会に出場。また、NKEドリームス(女子野球)が九州大会、県大会で優勝した森山静穂さん(南小)が、ソフトボール投げの全国大会に挑戦します。



1 県大会歴代2位の記録を持つ森山静穂さん 2 NKEドリームス 3 小林ボーイズの谷川愛さんと谷口泰将さん 4 中体連の全国、九州大会へ出場する選手ら



News 福祉ボランティア体験
「祖父の大変さが分かった」
小学生 18 人が福祉体験



車いすの使い方や、大変さを体験する参加者

8月7日と8日、市社会福祉協議会野尻支所で福祉ボランティア体験がありました。市内の小学生18人が参加し、ひじやひざを曲がらなくして歩く高齢者疑似体験や、認知症サポーター養成講座などを受講。中本吉信支所長は「優しい気持ちを持って、学んだことを日常に生かしてほしい」と呼びかけました。

News 道路愛護デー
道路に感謝。市民総出で
市道などを一斉に清掃活動

8月は「道路ふれあい月間」。第一日曜の8月4日は「道路愛護デー」ということで、市内各地で市民協働による最大イベントとして、道路清掃活動が実施されました。ごみ拾いや草刈りなどを行った坂元区の谷山末吉区長は「近所の人たちが顔を合わせ、交流にもなる良い機会になった」と話していました。



茂った草を刈る市民

News 国民健康保険運営協議会
国保事業の運営審議に尽力
池上クサエさんに感謝状



感謝状の贈呈式。肥後市長、種子田與市会長と

長年にわたり、小林市国民健康保険運営協議会委員として、国保事業に力を尽くした池上クサエさんに市から感謝状が贈られました。池上さんは被保険者の代表として、自営業者や主婦の立場で国保の運営に関する審議に参加。「勉強にもなり、楽しい思い出にもなりました」と振り返りました。

News ボランティア
小林市の景観を守ろう
NPO法人が岩瀬川を清掃

7月20日、岩瀬橋から栗巣野橋にかけて河川の清掃活動が行われました。NPO法人あかとんぼの会員ら約30名が参加し、川の中に入り、岩瀬川の川岸のごみ拾いを実施。山口義輝理事長は、「小林の景観を守るために、これからも定期的に行っていききたい」と話していました。



空き缶やビニールなどのごみを拾う会員ら